

DUNLOP MOTORSPORT RACE REPORT

ALL JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP 2013 SERIES KF1 CLASS

全日本カート選手権 KF1クラス 第3戦／第4戦

2013年6月29～30日／宮城県・スポーツランドSUGO西コース／小雨→くもり(ウェット→ドライ)

SUGOで証明した速さと強さ 福住&朝日が1-2フィニッシュ達成!

今季2度目の大会は2デイでの開催。土曜日に行なわれたタイムトライアルで、4名のダンロップ・ユーザーたちは山本龍司、朝日ターボ、宮澤一輝が2～4番手、福住仁嶺が6番手と全員が上位に着け、速さをアピールした。

続いて行なわれた第3戦の予選ではコースが霧雨に包まれ、滑りやすい路面で4名はそろってポジションを下げることに。一夜明けた第3戦の決勝は、雨上がりの湿った路面だ。ここでダンロップ・ユーザーたちが反攻を開始。朝日と山本がタンDEM走行でぐいぐいと順位を上げ、朝日が4位、山本が5位を獲得した。また、宮澤は17番グリッドから8位でフィニッシュ。福住は20番グリッドから7位でチェッカーを受けたが、重量不足で無念の失格となった。

完全なドライコンディションに変わった第4戦の決勝は、ダンロップタイヤの真価を示すレースとなった。序盤戦で2番グリッドから7番手まで後退した福住が、苦境を乗り越えて追い上げに転じると、次々と前走車をパスしてトップに立つ。ここから一気にリードを広げた福住は、拳を突き上げてチェッカーを受け、デビュー3戦目で堂々の全日本初優勝を果たした。やはり序盤戦で順位を下げた朝日も、福住を追うようにレース中盤から快調に順位を上げ、今季の自己最上位となる2位でフィニッシュ。さらに宮澤が5位、山本が7位と、ダンロップ・ユーザーは全員が上位入賞でこの大会を締めくくった。



第4戦1位の福住(右)と2位朝日(左)▶

DUNLOP MOTORSPORT RACE REPORT

ALL JAPAN KARTING CHAMPIONSHIP 2013 SERIES KF1 CLASS

全日本カート選手権 KF1クラス 第3戦/第4戦

2013年6月29～30日 / 宮城県・スポーツランドSUGO西コース / 小雨→曇り(ウェット→ドライ)



住友ゴム工業株式会社
ダンロップ モータースポーツ部 開発担当

藤田 将之

SUGOの大会は毎年梅雨の時期ですし、晴れば暑くなります。そこで今回は雨のレースと気温の高いレースに焦点を当てたタイヤを準備しました。第4戦で勝てたのは、暑い時の性能の良さが活かされたのかなと感じています。レース序盤から温まることも今回のタイヤの目標だったのですが、それは達成できたと思います。タイムトライアルから決勝までタイヤの性能の良さを示すことができ、レース結果にも満足しています。



6 朝日ターボ Turbo ASAHI

第3戦はレース前半の我慢が大事でした。順位を上げられたうれしさより、苦しさの印象に残りました。第4戦は、最初の1～2周で展開がゴチャゴチャしてしまったことが、優勝と2位の結果を分けたと思います。自分の甘さを痛感しました。

タイムトライアル 3番手
第3戦 予選 5番手
第3戦 決勝 4位
第4戦 予選 3番手
第4戦 決勝 2位



22 宮澤 一輝 Kazuki MIYAZAWA

無理をしないで走ってれば、自然と順位が上がっていくだろうとは思っていましたが、第4戦ではレース前半の組み立てがもっとうまくできていたら、さらに上の順位を狙えたはずなので、悔しい思いが残ります。

タイムトライアル 4番手
第3戦 予選 17番手
第3戦 決勝 7位
第4戦 予選 6番手
第4戦 決勝 5位



23 福住 仁嶺 Nirei FUKUZUMI

やっと勝てました。こんなにうれしい優勝は初めてです。今回のタイヤは、開幕戦とはコースが違うので比較はできないけれど、レインもドライも勝てるだけの良さがありました。いいタイヤを作ってくれたことに感謝しています。

タイムトライアル 6番手
第3戦 予選 20番手 (DNF)
第3戦 決勝 失格 (規定重量不足)
第4戦 予選 2番手
第4戦 決勝 1位



29 山本 龍二 Ryuji YAMAMOTO

だいぶレースの感覚を取り戻してきましたし、タイムトライアルで一発のタイムを出す方向性が今回で見えました。僕は他のダンロップの選手よりタイヤを少し荒らしてしまったので、それは今後の課題として改善していきたいです。

タイムトライアル 2番手
第3戦 予選 10番手
第3戦 決勝 5位
第4戦 予選 4番手
第4戦 決勝 7位

